



Socio express

エクスプレス

巻頭言

一つの実物資料から「現代史」への想像力を／安田常雄 ②

授業実践レポート

新学習指導要領の「地誌学習の充実」を考慮した地誌の授業案／宮嶋祐一 ④

『龍馬伝』を授業に！／宮 英司 ⑥

中・高を関連させた公民学習プログラム／鷗友学園女子中学高等学校社会科教員 ⑨

編集部からのお知らせとお願い ⑪

教育出版

一つの実物資料から「現代史」への想像力を ～歴博「現代展示」のねらいについて

安田 常雄

●やすだ つねお／国立歴史民俗博物館教授

国立歴史民俗博物館(歴博)では、2010年3月、開館以来の懸案であった「現代展示」が常設としてオープンしました。これで原始古代から現代まで、日本の歴史と文化を通史的に展示する課題が実現したことになります。ここではなるべく簡潔にそのねらいについて触れてみたいと思います。

ここでは主に1930年代から、戦争と占領の時代をへて、1970年代までの高度経済成長の時代まで、人びとの生活史を軸に、それぞれの時代の歴史的意味を描き出すことを目的にしています。それは多くの人びとにとって激動の時代であり、そこには数知れぬ苦難とひとときの喜びなどが積み重なっているに違いありません。そしてこの時代は体験しなかった若い世代にも、そうした人びとの固有の歴史的経験を通して、世界史的な現代という時代の深い意味を伝えてくれるはずです。たとえばファシズムと戦争、東アジアの植民地問題、原爆投下と冷戦、高度成長と環境問題、メディアと大衆文化の問題など、現在の世界が直面しているあらゆる問題の起源がこの20世紀の歴史のなかに沈殿しています。

この「現代展示」は、主に二つの部屋を使い、四つの主要なテーマで構成しています。

第一は「戦争と平和」という主題です。これは主に1931年の「満州事変」以後、1945年の敗戦に至る戦争の時代です。そこでは2006年夏に特別企画展示をおこなった「佐

倉連隊にみる戦争の時代」を一つの基礎にして、佐倉地域だけでなく日本全国を射程に、さらには膨張する「大日本帝国」の各地域(朝鮮半島、中国、東南アジア及び南洋群島など)をも含んでこの主題を考えたいと思っています。またそれは男性日本人兵士の歴史に限定されるものではなく、海外の諸地域の人びとや女性や子どもをも含んだ人びとの生活史を軸にした戦争経験の歴史を目ざしています。主な資料としては、佐倉連隊の内務班実物模型、植民地との関連では、台湾に徴兵令が施行されたときの「武装台湾」のポスターや「創氏改名」のとき、朝鮮名が消され日本名に書きかえられた小学生の通信簿などが展示されています。

また今回の展示では、近代展示では実現しなかった日清戦争と日露戦争、1920年代の東アジア世界を加えて構成してあります。特に後者のコーナーでは、韓国併合記念絵ハガキや教科書にも必ず出てくる三・一独立運動や五・四運動、また柳宗悦や浅川巧などの人物のエピソードを通して、この時代の概況を伝えています。さらに今回の「現代展示」の隠れたテーマとして、「人の移動」という観点が重視されています。これは20世紀という時代が、帝国の膨張とともに「人の移動」が活発になった時代であり、国民国家の壁がゆらいでいく時代であるからです。ここではまず1920～1930年代において、中国・朝鮮・

南洋群島との「人の移動」が描かれ、次に敗戦前後では、復員・引揚げに象徴される「人の移動」が当時のニュース映像を使って表現されています。さらにこの「人の移動」という観点からみると、高度成長の時代も列島規模で大量の「人の移動」が起きた時代であったことがわかるでしょう。それは通常よくいわれる集団就職だけではなく、かつての主要なエネルギー産業であった石炭産業が次々に廃業に追い込まれ、多くの炭鉱労働者とその家族が全国に散らばり、なかには南米への移民となっていく時代でもありました。

第二は「占領」の時代という主題です。現在「占領」はほとんど意識に上らない主題かも知れませんが、実は日本の戦後という時代のはじまりの構造を表示する重要なテーマです。それは日本国憲法や民主主義に象徴される戦後改革の時代であり、同時に「アメリカ」という現実(食糧援助から朝鮮戦争をへて日米安保まで)はその後の日本の歩みに決定的な影響を与え続けています。ここでは「焼跡闇市」の実物模型や衣食住の資料を使って戦後直後の庶民生活の展示を行っています。

第三は高度成長期の「生活革命」という主題です。展示物としては、福島県田子倉ダムで水没した山村の模型と、昭和37年の東京都北区の赤羽台団地の模型が対照的におかれています。これはエネルギー革命と技術革新、「三種の神器」(テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫)に象徴される都市型生活様式の浸透とその対極にある農山漁村の衰退と構造変化を表現し、また水俣病問題の実物展示を入れることによって、高度成長と環境問題との深刻



①『現代』展示場 戦争と平和コーナーの様子

な亀裂を描こうとしています。

そして第四は「大衆文化を通して見る戦後」という主題です。ここでは前記の三つの歴史の時系列的展示を前提に、あらためて戦後という時代がどのような時代であったのかをできるだけ多角的に考えてみたいというのがモティーフとなります。ここでは戦後の多様な大衆文化を素材に、それぞれの時代にどのようなメディアが人びとをとらえ、またそれはどのような政治的意味をもったのかを検証してみたいと思います。そこでは東宝映画「浮雲」(1955年)のセット、水爆実験を象徴するゴジラの立像、1968年を中心とする世界を追ったニュース映像、昭和30年代から20年にわたるテレビCM、さらに子どもの雑誌、おもちゃなどが展示され、同時代の気分を表現しています。

このように見てくれば、今回の展示には戦争も含めた20世紀としての現代をあらためて見直したいというねらいがあります。そして事実に基づく実証と、できるだけ多角的に時代の振れ幅をとらえる両義的な視点を重視し、一点ずつの実物資料が喚起する時代のイメージから、あらためて私たちの「現代」を考えるきっかけになればと願っています。

新学習指導要領の「地誌学習の充実」を 考慮した地誌の授業案

宮嶋 祐一



●みやじま ゆういち／芝浦工業大学柏中学高等学校教諭

● 1. はじめに

新学習指導要領の地理分野の主な改訂点の一つに、「日本の諸地域及び世界の諸地域の地誌学習を充実させること」が盛り込まれ、さらに、「動態的手法による日本の地誌学習」と、「地理的技能の一層の重視」が提言されている。ここでは、それらを考慮し、とくに後者に関わる点としてあげられた、「資料の読み取り、地図を活用した説明、自分の解釈を加えた論述や意見交換などの学習活動の重視」を念頭に置いた授業を、南部九州および鹿児島県を例に考えてみたい。

● 2. 授業構成

(1) 授業の導入としての白地図作業

ここでは、新学習指導要領の「日本の様々な地域」のうち、「日本の諸地域」の「産業を中核とした考察」を中心に授業を構築したい。

まず、前述の通り新学習指導要領では、「地図を活用した説明」が掲げられているので、最初に授業の導入として白地図の作業を行う。これは、新学習指導要領の日本の諸地域の中にある「自然環境を中核とした考察」にも対応する。まずここで、地誌学習に必要な基本的な地名や地形などを確認させておきたい。ただし中学生なので、あまり細かいところにはこだわらず、一方で興味を引くように簡単な質問形式で答えさせながら白地図にも記入していくという方法も有効だろう。主な事項としては、まず地形として、薩摩半島、大隅半島、種子島、屋久島、奄美大島、阿蘇山、桜島、球磨川、八代(不知火)

海、鹿児島湾などを取り上げる。この時に簡単な問いかけとして、鉄砲が伝来したところは？世界遺産に登録されている島は？世界最大級といわれるカルデラは？現在でも火山活動がさかんなところは？などの問いかけを、白地図のプリントに入れるのもよいだろう。次に熊本、宮崎、鹿児島3県の県庁所在地、さらにそれ以外の主な都市として、八代市、都城市などを記入させる。そして、日本の四大公害(訴訟)の一つはどこ？と問いかけながら、水俣市も記入させる。その際に簡単に水俣病の原因物質なども答えさせて、基本的な事項を確認させていくこともよいだろう。ここで心がけたいのは、問いかけは、単に地理分野に関することだけでなく、歴史に関係することや、ニュース等によく取り上げられることを出すことで、生徒の興味関心を引いたり、視野を広げることを念頭に置くことである。これらを、地図帳を使いながらまず生徒に作業をさせたい。次に教科書を使って、白地図に記入したことをもう一度確認させる。例えば教育出版『中学社会地理 地域にまなぶ』(以下教科書と記す)であれば、82ページに鹿児島県を中心に主な地形を掲載しているので、それらをもう一度白地図を使って確認させる。さらに、上記の教科書には、「温泉が多い」「シラス台地」という記述があるので、それを地図帳で確認し、さらにシラス台地は教科書85ページにシラスの分布図が掲載されているので、これを参考にしながらシラスの分布を白地図に記入させる。

また、84ページには、火山とともに生活する鹿児島島の記述があるので、そこを読ませ、火山灰が生活に与える影響について、生徒に考えさせたり、そのような報道を見たことがあるか問いかけてみてもよいだろう。

(2)南部九州農畜産業の課題

白地図の作業が終わったところで、次に南部九州各県の産業を取り上げる。教科書85ページには、ぶたとにわとり(ブロイラー)の生産の都道府県別割合のグラフが掲載されている。このグラフを使って、南部九州がどれくらい生産をあげているか確認する。さらに日本国勢図会を参照すると、ミカン、夏みかん、トマトの生産量第1位が熊本県、肉用牛の頭数では鹿児島県が第2位、宮崎県が第3位にあげられており、これらを補足資料として提示する。

これらを参考に示したうえで、なぜ南部九州各県で農畜産業が盛んなのかを考えさせる。その際、教科書85ページの本文、「この地域で、大規模な養鶏を営む畜産会社やJA(農協)のホームページを見てみました」の部分を読ませ、この地域の畜産業は、個人経営ばかりでなく大規模な食品関連会社や商社、またはJA(農協)による農家の系列化が進んでいることを生徒に説明する。そして、なぜ食品関連会社や商社などによる農家の系列化が進んだのかを生徒に考えさせたい。中学生だと、工業が大企業から下請けの中小企業まで系列化した“垂直”な関係があることは知っていても、農業で系列化による“垂直”な関係ができていないことは知らない生徒も多いだろう。考える際には、農家側と企業側のそれぞれの視点に立ち、それぞれにとっての系列化によるメリットとデメリットを具体



① シラスの分布と笠野原台地の位置

的に考えさせることが必要であろう。例えば班で話し合って発表させたり、周囲の生徒どうしで話し合いをさせてもよい。ここで企業の系列化による“垂直”な関係について考えておくことが重要で、そうすれば、「世界の諸地域」の学習においても、現在は様々な分野において、一国内のみならずグローバルに系列化が進んでいることにも考えが及ぶであろう。さらに今回の宮崎県でおきた口蹄疫のことも、大規模な生産体制がもたらす影響として考えることができよう。

● 3. おわりに

以上、簡単であるが南部九州を取り上げた地域学習の一例について紹介した。今回、南部九州を代表する産業である畜産業を中心にした授業構成を考えたが、農業部門でも企業による系列化が進んでいることを示し、それにより何が良くなり、何が問題なのかを考えさせることが重要であると筆者は考えている。そして繰り返になるが、そのメリット・デメリットを生徒にしっかりと考えさせることが、様々な地域を学習する時に必要になると思われる。また、それにより新学習指導要領に盛り込まれた動的な手法による日本地誌学習の“関連付け”にも対応することになると思われる。



『龍馬伝』を授業に！

宮 英司



●みや えいじ／前高知県社会科教育研究会会長・高知大学非常勤講師

NHKの大河ドラマ『龍馬伝』を楽しく見ている。「これは史実とは違う。だけど、まあいいか？」であったり、「これは知らなかった。後で調べてみよう。」等々である。最後の勤務地であった、いの町立伊野南中学校では、隣の伊野南小学校も含めて何度か授業をさせてもらった。なかでも「坂本龍馬」の授業はインパクトが大きかった。「龍馬はこんなにもすごい歴史に残る大きな仕事をした。だけど、子どもの時はあまり目立たない普通の子ともだった。だから、みんなも龍馬のように大きな目標を持って生きていってください。」と話して授業を終わると、子どもたちはニコニコしている。平成13年3月1日に、高知市教育委員会から『小中学生のための坂本龍馬物語』が児童生徒用の副読本として発行された。当時の市長さんが「龍馬都市」を宣言した流れに沿ったものであったが、おかげさまで龍馬関連の書籍等を読みあさり、新しい龍馬との出会いがあった。この副読本は、小学校5年生への公費配布が数年に渡って続いたが、残念ながら今は中断となっている。この副読本が保存されている家庭ではきっと『龍馬伝』と見比べながら楽しくテレビを眺めているのではないだろうか。この副読本は「龍馬の生まれたまち記念館」と「自由民権記念館」で実費販売されているので付記しておく。平成22年1月に伊野南小学校で実施した出前授業の「授業デザイン」は次のような

内容である。

●1.「坂本龍馬」授業デザイン

○目標

- ・坂本龍馬が目ざした国づくりについて考えさせる。
- ・坂本龍馬が海外に目を開くきっかけは何であったのかに気づかせる。

○展開

1. 龍馬の最後の場面を学習しながら当時の日本について考える。
2. 資料から、龍馬の国づくりについて思いをさせてみる。
3. 龍馬が成し遂げた歴史に残る仕事は何だろうか。
4. 龍馬の目が海外へ開かれた一番のきっかけは何だろうか。
5. 龍馬像は全国にいくつある？
6. 脱藩後、一度だけ帰国した龍馬がしたことは？

○まとめ こんな大活躍をした龍馬も小さな頃はほんやりとした少年だったと伝えられている。ぜひ、みなさんも今から頑張って、龍馬のように大きく羽ばたいてほしい。

○準備物 「新政府綱領八策」の額、「龍馬像」の写真10枚、「龍馬」の写真5枚、「龍馬」のミニチュア銅像、「坂本龍馬物語」の冊子

○生徒の感想

- ・高知からこんなすごい人が出ていることを改めて知った。
- ・脱藩の時、自分たちの町「いの」を通っていることに驚いた。
- ・もうすこし長生きしていたら、日本はどうなっていたのだろうか。
- ・日本中に、たくさんの銅像をつくってもらっていて自分たちも嬉しい。
- ・もう少し龍馬について勉強し直してみたい。

●2. 「銅像物語」の提案

各地に郷土の偉人がいる。銅像も建っていることだろう。私は、社会科の授業で長い間「銅像物語」を企画・実践してみたいと思っていた。残念ながら、第一線は退いたが、各地における郷土の銅像を教材化する取り組みを奨励したいと考えている。高知でいえば「中

岡慎太郎、岩崎弥太郎、野中兼山、吉田茂、牧野富太郎、濱口雄幸、長宗我部元親、坂本龍馬、山内一豊・千代、板垣退助、片岡健吉、山内容堂、武市半平太、吉村虎太郎、ジョン万次郎、義堂周信、絶海中津」等々である。それぞれの都道府県における「銅像物語」の実践をぜひお勧めしたいものである。

〇〇中学校版「坂本龍馬検定」

次の問いに対する答えとしてふさわしいと考えるものを○で囲んでください。龍馬の活躍していた時代に思いをはせながら答えを見つけてください。こうした知識は、将来みなさんが故郷を語る時にきっと役に立つと思います。これをきっかけに、郷土の英雄・坂本龍馬についてもっと学習を深めてみてください。

1. 坂本龍馬の誕生日はいつでしたか？

①1月15日, ②11月15日, ③3月15日, ④7月15日

2. 龍馬は何人きょうだいの何番目でしたか？

①4人の3番目, ②5人の5番目, ③4人の2番目, ④5人の3番目

3. 龍馬は日本で最初の新婚旅行をした人だといわれています。ところで、新婚旅行の行き先はどこでしたか？

①薩摩, ②長州, ③阿波, ④肥前

4. 龍馬の目が海外に開かれた大きなきっかけは何でしたか？

①世界地図を見たこと, ②黒船来航を目の前で見たこと, ③千葉道場に入門したこと, ④高杉晋作と話をしたこと

5. 龍馬が生涯の師と仰いだ人物は誰でしょうか？

①西郷隆盛, ②木戸孝允, ③勝海舟, ④小松帯刀

6. 龍馬が開拓しようと計画していたのは次のどこでしたか？

①沖縄, ②東北, ③北海道, ④樺太

7. 龍馬の大仕事を二つあげるとしたら薩長同盟ともう一つは何でしょうか？

①亀山社中の設立, ②新婚旅行の実施, ③海援隊の組織化, ④大政奉還の実現

8. 龍馬が暗殺された場所は京都のどこでしたか？

①池田屋, ②寺田屋, ③才谷屋, ④近江屋

9. 次のうち龍馬の銅像が建っているのはどこでしょうか？

①徳島市, ②秋田市, ③山口市, ④大洲市

10. 薩長同盟は成文化されたものではありませんでした。そこで、文章にしたためた後に龍馬に「間違いない」と念押しをしたうえで、『裏書き』を求めてきた人がいます。次のうちの誰でしょうか？

①西郷隆盛, ②大久保利通, ③木戸孝允, ④高杉晋作



「坂本龍馬検定」の解説 (問いの解答)②, ②, ①, ②, ③, ③, ④, ④, ④, ③

1. 龍馬の誕生日は11月15日です(亡くなった日もいっしょです)。生まれた日・・・1835(天保6)年11月15日 亡くなった日・・・1867(慶応3)年11月15日
2. 龍馬は5人きょうだいの末っ子でした。兄(権平), 姉(千鶴), 姉(栄), 姉(乙女)と龍馬です。
3. 龍馬は1866(慶応2)年, 寺田屋で襲われて大けがをしました。その時, お龍さんの機転で寺田屋から逃れることができ, 後に龍馬は「命の恩人」であるお龍さんと結婚しました。そして, けがの温泉治療を兼ねて, 西郷隆盛や小松帯刀の誘いで薩摩に出かけました。その旅行は, 当時の人々の習慣にはなかった「新婚旅行」の第一号だといわれています。
4. 龍馬が1853(嘉永6)年に江戸へ剣術修行に出かけた時に, アメリカのペリーが黒船でやってきて江戸は大騒ぎとなりました。その時, 龍馬は土佐藩の命令で品川の海岸防御に出向きます。間近に迫る黒船を前にして, 龍馬は外国のすごさを改めて感じるのです。
5. 勝海舟は当時一番の開国論者(鎖国をやめて, 外国とのつきあいをしようとする考え方の人)でした。その勝と会談した龍馬は「これからの日本は開国をするしかない」と思うようになります。そして, その場で勝に弟子入りをするのでした。
6. 龍馬は蝦夷地(北海道)開拓の夢を持ち, 仲間を下見に派遣したりしています。1864(元治元)年には尊王攘夷運動の活動家を北海道に移住させる計画を勝海舟に相談しています。が, 龍馬の夢は実現しませんでした。龍馬の ойの坂本直寛が, おじである龍馬の夢を引き継ぐかのように明治時代になってから北海道開拓に乗り出しました。
7. 龍馬は土佐藩の船「夕顔」の中で新しい時代の政治のあり方を「船中八策」としてまとめました。土佐藩家老の後藤象二郎はその意見を前藩主山内容堂に進言しました。将軍徳川慶喜は, 土佐藩からの意見を受けて大政奉還を決断します。大政奉還の考えは龍馬の発案だった訳です。
8. 龍馬の33回目の誕生日は1867(慶応3)年11月15日でした。当時の龍馬の隠れ家は, 京都の近江屋の裏手にある土蔵でした。この日, 龍馬は風邪気味であったので母屋の2階に移っていました。そこへ中岡慎太郎がやってきて, 同志宮川助五郎の処置の相談を始めました。刺客が侵入したのは, その相談中のことでした。龍馬はほぼ即死の状態, 中岡慎太郎は2日後に亡くなりました。犯人については諸説あり, はっきりしていません。二人とも, すぐそばに刀を置いていなかったのが災いしました。
9. 龍馬は, 1862(文久2)年3月24日に脱藩しています。脱藩ルートは伊野から梶原, そして伊予国の旧河辺村(大洲市)の山道を駆け抜けたといわれています。「飛翔の像」と名付けられた銅像は龍馬と沢村惣之丞, 那須俊平の三人の姿がほぼ等身大の大きさで並んでいます(脱藩ルートについては諸説あります)。
10. 当時の薩摩藩と長州藩の間には, さまざまな争いが起こり, 両藩は激しくにくみあっていました。しかし龍馬は, 大きな力を持っているこの二つの藩が協力しあわなければ, 新しい時代はやってこないと考えるようになったのです。そこで, 中岡慎太郎と協力をして何度も説得を繰り返し, 二つの藩に同盟を結ばせました。しかし, 話し合っただけだったので, 心配をした桂小五郎(のちの木戸孝允)は文章化したものを持参したうえで, 龍馬に「間違いない」という証明として, その裏側に裏書きを求め, 龍馬がそれに応じて朱書きをしました。

この春からPTA対象の「坂本龍馬・ミニ講演会」や子ども向けの「坂本龍馬・出前授業」を実践しています。今のところ, 月1回程度のペースですが, ご連絡があれば出向いてみたいと思っています。各地の社会科教育に携わるみなさんが「郷土の英雄」の手づくり授業にチャレンジすることを願って高知からの情報発信とします。

中・高を関連させた公民学習プログラム

鷗友学園女子中学高等学校社会科教員



●1. 「鷗友の社会科」

鷗友学園は完全中高一貫の女子校であり、文部科学省による中学校学習指導要領に沿いながらも、本校の理念に基づく教育の一環として、「鷗友の社会科」を構築してきた。

わたしたちは、中高の6年間を反抗期⇔中だるみの時期と捉えず、多様な価値の中から自分らしい価値を見つけて親から自立していく自分発見期と位置づけている。1990年頃から始めた総合学習や、修学旅行等の行事などとも連携しながら、自分を見つめ、社会を知り、社会の中で自分をどう活かし、貢献できるかを考える科目として、中学校3年生の週4時間の社会科のうち1時間を公民的分野に、3時間を名目上「現代社会」として授業を進めてきた。

●2. 社会参加を学ぶ公民科

公民的分野では、東京証券取引所の「株式学習ゲーム」の実施や、2010年の場合には選挙管理委員会から投票箱を借用して参議院議員選挙の模擬投票を行うなど、単に政治・経済の仕組みを学ぶだけでなく、擬似的に社会参加することによって興味・関心を高める工夫をしている。

●3. 現代社会のテーマ学習

一方、「現代社会」では、テーマ学習と調査・発表学習を並行して行っている。テーマ学習の目的・目標は次のようなものである。

複雑な現代社会の中で、異なる文化・多様な価値を持つ人々を包括し、共存・共生できる生き方を、一人の人間として考える。また、テ

マごとに、現代社会が抱える問題について考えると同時に、高等学校での地歴・公民科の学習や、大学生、社会人として必要とされる技能の基礎を身に付け、現実の社会の動きを見る力を養うことをめざす。

具体的には、世界で起きているさまざまな出来事を情報として受け取り、その中から必要な情報を選択・理解し、分析した上で問題を発見し、解決方法の提案も含めて自分の言葉で表現する力を養うことを目標とする。オリジナルテキストは次のような構成になっている。

(2010年度テキスト目次)

§ 1 現代社会の見方

1. 差別と異文化理解 黒人差別、日本と外国、日本と朝鮮半島、日本の中の差別①アイヌ、②部落、③ハンセン病、差別の構造

2. 戦争―歴史 冷戦、同時多発テロ～アフガン攻撃～イラク～再びアフガンへ、戦争プロパガンダの法則、日本の戦争①加害と被害、②沖縄戦、戦争が残した問題、③戦後補償(日本とドイツ)、戦争のさまざまな側面

3. 生命とは何か 医師と患者の関係、脳死と臓器移植、尊厳死・安楽死、クローン

§ 2 女性と男性

1. 男女の人間関係 男女の差～ジェンダー、民法改正、生命～代理出産と人工妊娠中絶

2. 女性と労働 女性の就業状況、少子化問題、男女平等な社会をめざして

	地理的分野	日本史	世界史	公民的分野	ホームルームのテーマ学習
中1	世界地理	←空間的把握			自分史・環境
中2		日本史	世界史	←時間的把握	福祉
中3			(構造的把握→)	公民	→職業・平和
高1	選択地理	選択日本史	世界史	(↑具体的理解) (↓抽象的理解)	国際
高2	地理	日本史	世界史	政治経済	倫理
高3	地理	日本史	世界史	政経／倫理	政治・経済
	大学受験用選択科目			小論文対策	進路を考える

①『鷗友の社会科』プログラムとホームルームのテーマ学習(一般的には「総合的な学習の時間」)との関連

●4. 現代社会の調査・発表学習

さらに、これらの力を養うために、調査・発表学習を行っている。

年度始めの4月から、自分が興味を持った記事を切り抜いてスクラップする。担当者との面接でレポートのテーマを絞り込む。夏休みに調べ、掘り下げて、レポートにまとめて提出する。9月から、担当者との面接を経てさらにテーマを絞り込み、聞き手を想定し、「なぜ、このテーマを選んだのか」、「何が問題なのか」を明確にし、それに対する「自分の意見」を表明する1,000字程度の小論文を書く。

次に、クラス全員の前で小論文をもとに発表し、質疑応答をし、それをお互いに評価する発表学習を1～2か月間かけて行う。さらにクラス内の投票によってクラス代表を1～2名ずつ選び、生徒の運営による学年合同の発表会を行う。

目標は、社会に関心を向け、自分が気づいていない問題がたくさんあることに気づき、知りたいことを調べる方法を身に付け、自分の考えをまとめ、人と意見を交わすことができるようにすることであるが、とくに後二者の観点から、サブテキストを作成している。

(2010年度サブテキスト目次)

1.時事問題に関心を持つ／2.新聞を読む／3.レポートとは何かを知る／4.資料を集める～新聞・書籍から／5.資料を集める～インターネットから／6.レポートを書く準備をする／7.資料を用いるときの注意点を知る／8.レポートを書

くときの注意点を知る／9.「凄い!」と思わせる小論文を書く／10.「面白い!」と言わせる発表をする

さらに現代社会と総合学習の共通の行事として、沖縄戦や広島原爆の体験者などの話を聞いたり、性教育や平和教育の映画などの鑑賞も取り入れている。

テストでは、シラバスに沿った基本的な知識や質問に対する自分なりの解答を答えさせる到達度試験のほか、ときには1,000字を目標とする論述問題や、さまざまなジャンルの時事問題なども出題される。

●5. 『鷗友の社会科』の効果

論述の採点も含めて個別指導が多いため、1名の教員が1クラスだけ担当することを原則としており、専任教員9名を中心に毎年6名がこの科目を担当し、週1回の会議で打ち合わせをしながら授業を進めている。その結果、教員同士の協業化、指導力の強化・共有化を進展させることができた。

また、前提が異なれば答えも異なってくるという多様性を尊重した授業であり、生徒が社会科を「暗記科目」と捉えなくなる効果、個別相談を含めた双方向的な授業を通して担当教員と生徒のコミュニケーション改善などの効果があった。「現代社会」で学んだことを深めたいと、社会科学系への進学者も増加している。

編集部からのお知らせとお願い

平成22年度用教科書に、訂正のうえご指導いただきたい箇所がございます。
誠に恐縮に存じますが、ご指導の際には、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

【地理的分野】

ページ	行	原文	訂正文
28	地図		〔北アメリカ州と南アメリカ州の境をパナマ運河で区分し、パナマとコスタリカおよびコロンビアとの国境線を表示〕
29	地図		〔中央アメリカと南アメリカの境の位置が、パナマとコロンビアの国境と重なるように表示〕
125	左写真キャプション	あらい砂利が	あらい石などが
125	左5	土砂を	あらい石などを
154	上グラフ	自然のエネルギー	その他の自然のエネルギー
202	右段28～29	岩や石など	あらい石など
202	右段32	砂や粘土が	土砂が

【歴史的分野】

ページ	行	原文	訂正文
24	上写真キャプション	故宮博物館	故宮博物院

※社会情勢の変化等に伴う訂正

また、教科書の印刷後に生じた社会情勢の変化等に伴い、更新のうえご指導いただきたい箇所がございます。併せてご留意くださいますようお願い申し上げます。

【地理的分野】

ページ	行	原文	訂正文
29	地図	12の共和国	11の共和国〔グルジアの地域区分先を西アジアへ変更〕
78	10	空知・上川支庁といった、	空知総合振興局や上川総合振興局の地域など、
79	地図 キャプション	支庁別の	〔支庁名と支庁界を総合振興局・振興局の名称と境界に更新、空知総合振興局と上川総合振興局の統計数値を調整〕 地域別の
81	地図		〔支庁界を総合振興局・振興局の境界に更新〕
83	地図		〔合併に伴い、始良市を追加〕
83	11	奄美諸島におけるちがいや、同じ奄美諸島	奄美群島におけるちがいや、同じ奄美群島
85	地図		〔合併に伴い、始良を追加〕
140	地図	政令指定都市(2009年4月)	政令指定都市(2010年4月)〔相模原市を追加〕
182	左上写真キャプション	チカッパ美恵子さん	チカッパ美恵子さん(1948－2010)
183	4～5	創作しています。	創作してきました。
192	中囲み	1日1便の	1日2、3便の

【歴史的分野】

ページ	行	原文	訂正文
197	9 側注	さまざまな政党と連立を組んでいます。	さまざまな政党と連立を組んで改革をすすめました。③ 〔側注に注③を追加〕 ③2009年には、民主党が衆参両議院で第一党となる政権交代がおこり、新たな政治をめざす取り組みがはじめられています。

【公民的分野】

ページ	行	原文	訂正文
67	上図	社会保険庁(2009年6月現在)	〔削除し、内閣府に「消費者庁」を追加〕(2010年6月現在)
94	12 側注 14、側注	安全な消費生活を送ることができません。	安全な消費生活を送ることができません。① 〔側注に注①を追加〕 ①こうしたさまざまな問題に対し、消費者の立場から取り組む新たな官庁として、2009年に消費者庁が設置されました。 〔14行めの注番号①を②に、側注①を②に変更〕
109	上図	〔「神通川」のふり仮名〕 じんずう	じんづう



教育現場とリンク

教育出版

エデュコネット

EducoNet の会員を募集しています！

入会金・会費は無料です！



会員の皆様に、インターネットを通じて
教育情報をご提供します。

EducoNet
とは...

教育関係者専用 のWEBサイトです。

役立つ資料・情報の宝庫 です。

- 教育情報.....教育界の動向等の情報提供
- 教科のページ.....年間指導計画・評価基準・高校シラバス・教科別お役立ちコーナー・編集部からのお知らせなど
- メールマガジン.....教育関連情報をタイムリーに発信

会員は...

- ◆会員専用のコンテンツにアクセスできます。
- ◆メールマガジンが定期的に配信されます。

申し込みを受け付け後、
ID・パスワードを勤務先に
郵送します。



教育出版EducoNet会員登録について

★WEBにて受け付けています！！

教育出版ホームページまたは
<http://educonet.jp/entry.html>に
アクセスしてください。

※個人会員のほかに、教育委員会・学校単位での申し込みも受け付けます。

教育出版ホームページの主な内容
<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

EducoNet (会員制)

- ・年間指導計画
- ・評価基準
- ・教科別お役立ちコーナー
- ・教科通信
- ・ニュースレター
- ・各種教育情報
- ・編集部から
- ・メールマガジン

■ 情報提供

...・教育情報 ・総合的な学習 ・研究会日程

■ 各種リンク集

■ ご案内

...・教科書内容 ・教師用指導書 ・教材品

■ 教科書関連資料・写真館

■ 新刊書紹介

■ もの知りテーマパーク

■ 地球時代の教育情報誌Educo

教育出版

▶▶▶ EducoNet事務局 E-mail : educonet@kyoiku-shuppan.co.jp

【表紙写真】サン＝マロ湾の陸繋島に建造されたカトリック修道院、モン＝サン＝ミッシェル。広大な干潟に位置する島であるが、撮影場所である堤防道路の建設によって砂州が急速に成長したといわれる(上写真)。修道院の居住区屋上にある緑化された中庭と、瞑想の場である回廊(下写真)。(2010年 フランス・ブルターニュ地方)

中学社会通信 Socio express (2010年 秋号)

2010年10月1日 発行

編集：教育出版株式会社編集局
印刷：大日本印刷株式会社

発行：教育出版株式会社 代表者：小林一光
発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864(お問い合わせ)
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北3条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL : 011-231-3445 FAX : 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一生命ビルディング 3F TEL : 0138-51-0886 FAX : 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL : 022-227-0391 FAX : 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL : 052-262-0821 FAX : 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL : 06-6261-9221 FAX : 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL : 082-249-6033 FAX : 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL : 089-943-7193 FAX : 089-943-7134
九州支社	〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-49 ヒューリック福岡ビル 8F TEL : 092-781-2861 FAX : 092-781-2863
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL : 098-859-1411 FAX : 098-859-1411